

## トルコギキョウの斑点病（新発生）

令和4年4月、北海道内のトルコギキョウほ場において育苗中のセル苗の本葉1～2葉の表と裏に5～10mmの黒すす状の病斑が発生した。定植後も下葉に病斑が見られ、高温期は抑制されていたものの、9月に再び本症状が観察された。病斑部の分生孢子から分離した菌株をBLB照射下、トマトジュース寒天培地上で培養し、形成させた分生孢子をトルコギキョウへ接種したところ、病徴が再現された。分生子柄は気孔に形成され、分生孢子は単性、透明で2～7個の隔壁を有し、 $31\sim 67\mu\text{m}\times 2.8\sim 5.0\mu\text{m}$ であった。以上の病徴及び形態的特徴から病原菌を *Pseudocercospora eustomatis* (Peck) U. Braun と同定した。

（上川農試）



トルコギキョウの斑点病（上川農試 佐々木大介 原図）